学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	技術家庭科(技術科)	実施学年	３年	週時数	０.５時間

１　学習の目標等

学習の目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。 （１）生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 （２）生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 （３）より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
使用教科書 副教材等	(開隆堂)技術・家庭　技術分野　技術家庭科ファイル

２　学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備考
第１学期	4 5	①　生活や社会と情報の技術	・コンピュータの機能や装置、メディアを利用した情報の表現、情報通信ネットワーク、情報セキュリティと情報モラルに関して、学習を深める。また、日常生活における情報機器の適切な使用ができるようにする。	・テスト ・プリント	
第２学期	6 7 9 10 11	②　生物育成の技術	・生物の成長などの原理・法則と基本的な技術の仕組みを理解することができるようにする。 ・成育環境の調整方法の構想と育成計画、栽培又は飼育の過程の記録をし、よりよい成育環境を整えることができるようにする。	・実習課題 ・テスト ・プリント	
第３学期	12 1 2 3	③　生活や社会と情報の技術～持続可能な社会の構築～	・将来にわたって、技術の在り方や活用の仕方などを評価し、選択するとともに、適切に管理、運用することにつながれるようにする。技術を改良、応用する立場から安全、安心で便利な生活の実現や持続可能な社会の構築を考えることができるようにする。	・プリント	

３　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	・情報モラルや情報セキュリティ、コンピュータに関わることを主として、情報機器を取り扱うにあたり、情報を適切に処理することができ、合わせて運用することができる。 ・生物の特徴を捉え、適切に生物育成を行うために、環境への配慮等を考え、活動をおこなうことができる。	・情報・生物育成テスト ・生物育成課題プリント ・情報プリント
思考・判断・表現	・コンピュータウィルスや、情報モラルの観点を適切にとらえ、思考し、表現することができる。 ・生物育成では、計画から完成までの実習計画書を作成し、目標を設定を行い。課題の解決に向け、主体的に取り組むことができる。	・情報プリント ・生物育成課題プリント ・オリエンテーションプリント
主体的に学習に取り組む態度	・情報や、生物育成に関する技術について、課題の解決に主体的に取り組もうと実践している。 ・よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、授業の振り返りをしたりする中で、新たな目標を設定し、実践することができる。	・授業振り返りプリント ・生物育成課題プリント ・情報プリント ・各提出物提出状況

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。